

第51回 前橋市中学校総合体育大会柔道大会要項

- 1 主催 前橋市中学校体育連盟 前橋市教育委員会 前橋市中学校校長会
 - 2 後援 前橋市体育協会 群馬県柔道連盟前橋支部
 - 3 期日 平成26年7月19日(土)・20日(日)
 - ◎団体戦 7月19日(土)

8:30	役員選手集合	9:30	開会式
8:40	計量	9:40	試合開始
 - ◎個人戦 7月20日(日)

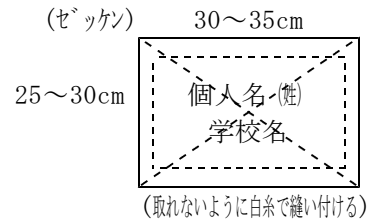
8:30	役員選手集合	9:30	開始式
8:40	計量	9:40	試合開始
 - 4 会場 前橋市民体育館 柔道場
 - 5 参加資格
 - ・学校教育法に定める中学校の生徒で、前橋市内の中学校に在籍し、当該校長の参加許可を得た生徒。
 - ・上記以外の学校に在籍し、前橋市中学校体育連盟で参加を認めた生徒。
 - 6 参加制限
 - ◎団体戦
 - (1) 男子各校1チーム(選手5名、補員2名)、女子各校1チーム(選手3名、補員1名) 監督は出場校の教員に限る。
 - (2) 編成は体重が最も重い者を大将とし、以下順次体重順に行う。選手が5人に満たない場合も同様に行い、間に欠員を置いてはならない。(補員の充当により抜けた選手は、以後の今大会の団体戦には再び出場できない)
 - ◎個人戦
 - (1) 男子階級は、50kg(50kg以下)、55kg(50kg超～55kg)、60kg(55kg超～60kg)、66kg(60kg超～66kg)、73kg(66kg超～73kg)、81kg(73kg超～81kg)、90kg(81kg超～90kg)、90kg超の8階級とする。
 - (2) 女子階級は、40kg(40kg以下)、44kg(44kg以下)、48kg(44kg超～48kg)、52kg(48kg超～52kg)、57kg(52kg超～57kg)、63kg(57kg超～63kg)、70kg(63kg超～70kg)、70kg超の8階級とする。
 - 7 競技規則
 - 国際柔道連盟試合審判規定(2014-2016)および「少年大会申し合せ事項」による。ただし、前橋市中体連柔道部での申し合わせ事項を優先する。
 - 8 競技方法
 - ◎団体戦
 - ・春季大会の上位4校をシードする。
 - ・原則4校ごとの予選リーグを行い、上位2校によるトーナメント戦を行う。
 - ◎個人戦
 - ・各階級ごとにトーナメント戦を行う。
- ※詳細については、ルール改定に基づき、組合せ会議の際に確認する。

- 9 表彰 団体戦 優勝チーム以下第3位まで
 個人戦 体重別に優勝者以下第3位まで
 *団体戦、個人戦とも第3位は2校、2名とする。

10 参加申込 組合せ会議までに所定の申込書を提出して申し込む。(詳細は各校に配布の申し込み要領による。)

11 その他

- ・団体戦は男子は推薦出場校を除き上位2チーム、女子は推薦出場校を除き上位2チームが県大会に前橋市代表として出場する。ただし事前調査により、県大会出場校数は変動する。
- ・個人戦は男女とも、推薦出場者を除き各階級の優勝者が県大会に前橋市代表として出場する。ただし大会参加登録時において、男子はその階級で16名を超えるごとに、女子は8名を超えるごとに1名県大会への出場数が増加する。上限は4名とする。
- ・男女とも、団体戦の補欠決定戦及びシード校決定戦は、すでに予選リーグで試合をしている場合は、その結果による。
- ・出場選手は必ず背中にゼッケンを貼付する。
- ・各チームともオーダー表(1枚)を用意する。
- ・相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしてはいけない。
- ・選手・監督はもちろんのこと、応援者においても、大会の運営の妨げになるような言動は慎む。
- ・脳震盪対応について、選手及び指導者は下の①～④を遵守すること。



- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

【オーダー表(男子)】

先	次	中	副	大	学	校	補
							欠
							名

【オーダー表(女子)】

先	中	大	学	校	補
					欠
					名

*模造紙たて4分の1
 *補欠名は右下へ記入